

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表予定:令和4年3月1日

事業所名 アンジャンテ放課後等デイサービス

※“はい”60%以下の項目に対して改善内容を記載

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
境・体制整	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	78%	22%	0%		
	2	職員の配置数は適切である	89%	11%	0%		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	89%	11%	0%		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	44%	56%	0%		現在、モニタリング時にパートナーを含めて、話し合いを行っております。活発な意見交換が行えるように工夫してまいります
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	78%	22%	0%	アンケートはしているが結果を全職員が周知していない	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	67%	11%	22%		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	33%	33%	33%		前年度に実習生等の第三者の方達より評価を頂き、記録に残し、サービス向上・改善につなげると目標を設定しましたが、コロナの影響で実習性等の受け入れが出来なかった為、目標未達成となります
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	78%	22%	0%		
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	89%	11%	0%		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	89%	11%	0%		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	0%		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	89%	11%	0%		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	56%	33%	11%		休日・長期休みは平日のプログラムに加えて畑での農作業やダンスが追加されます。周知が出来ていない為、再度ミーティング等で伝えてまいります また、きめ細やかな課題設定については解釈の仕方による差がある為、大阪市に問い合わせることで具体例を聞き取り、社内で話し合いの場を作りたいと思います
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	0%		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	89%	11%	0%		
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	0%			
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	0%			

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	89%	11%	0%		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	56%	44%	0%		自立支援:サーキット遊びやダンスを通じて体を動かす能力向上、ルールを守ることでの社会性を育む 創作活動:カレンダー作り、壁面制作に取り組み、指先の巧緻性、発想力を養う 地域交流:畑活動で屋外活動の実施、収穫体験を通して地域の方達の目に触れる活動の実施 余暇の提供:自由時間はオセロやウノ、その他玩具を準備し遊ぶ時間を設定 以上各項目を組み合わせた支援を実施しております
関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	0%		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	0%		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	78%	22%	0%		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	56%	44%	0%		過去に就学前に、担当者会議を設定し情報の引継ぎを行う事が出来ています。現在も継続して実施しております
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	44%	56%	0%		未就学児童及び小学生の児童を対象としており、中学生になった際は法人内のアンシャンテ2へ引継ぎを行います。その際は社内会議を通して、情報の引継ぎを行っております
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	44%	44%	11%		情報収集を行い、研修参加に努める
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	11%	44%	44%		コロナの影響がなくなった後に積極的に取り組んでいきたい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	56%	22%	22%		コロナの影響がなくなった後に積極的に取り組んでいきたい
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	89%	11%	0%		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	22%	67%	11%		コロナの影響がなくなった後に積極的に取り組んでいきたい
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	78%	22%	0%		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	89%	11%	0%		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	56%	33%	11%		コロナの影響がなくなった後に積極的に取り組んでいきたい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	89%	11%	0%		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	89%	11%	0%		
	35	個人情報に十分注意している	89%	11%	0%		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	89%	11%	0%		

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	33%	11%	56%		コロナの影響がなくなった後に積極的に取り組んでいきたい
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	89%	11%	0%		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	0%		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	56%	44%	0%		毎年1月が虐待防止委員会を実施し、職員アンケートを実施しています。またその結果をお知らせしていますが、すべてのパートさんへの周知が行えていない為、ミーティングを介して伝えてまいります。またその際に、研修内容も引き継いで参ります
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	78%	22%	0%		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	56%	44%	0%		食物アレルギーのある児童にたいしては、個別に票を作り、台所付近に張り付けております。パートさんへの周知が行えていない現状が確認できたため、ミーティングを介して伝えてまいります
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	0%		